

コリンヌ・モロー CORINNE MOREAU

フランス見本市協会 (PROMOSALONS) パリ本部代表 - DIRECTEUR GENERAL DE PROMOSALONS



経営管理準備教育機関 IPAG (Institut de Préparation à l'Administration et à la Gestion) で国際ビジネス専門課程学び、卒業後に専門見本市連盟コンクール (Concours de Fédération des Salons Spécialisés) で優勝したコリンヌ・モロー。1991 年にエグゼクティブ・アシスタントとしてフランス見本市協会 (プロモサロン) に入社し、1995 年末まで同職を務めた。モローは 1996 年に、同社のマーケティング&セールス部門を立ち上げ、2010 年まで同部門のディレクションを行った。これと並行して 1996~1998 年まで、同社のベルギー/ルクセンブルグ子会社の経営に携わり、黒字化した。

2010 年 10 月よりフランス見本市協会パリ本部の代表 (DIRECTEUR GENERAL) を務める。チームを直接運営し、フランス見本市協会の国際的なネットワークを牽引、フランス見本市協会の戦略展開のモデリングを実施し、特に各業界団体や機関のメンバーとのパートナーシップの構築に努めている。2014 年、パリ=イル・ド・フランス地方商工会議所 (CCIR IDF) が設立した、国際会議や見本市における調査や報告書を作成している非公式組織の「パリ地域・会議見本市委員会コピル・コングレ&サロン (COFIL)」に参加し、約 10 のパートナーを集結させた。2016 年には、外務省と経済産業省およびデジタル経済省の庇護のもと、「ビジネス会議・イベント (Rencontres d'affaires et événementiel)」分野の契約の正式化に積極的に携わり、貢献している。

2020 年に Covid-19 のパンデミックが世界中を危機にさらし、国際見本市業界が大打撃を受けて立ち行かなくなる中であっても、モローは集中的なモニタリングを行い、事業の一部を多角化し、また市場と絶え間なく密な連絡をとるという方針を取った。その結果、見本市の再開が進む 2021 年 6 月には、フランス見本市協会ネットワークはメンバーとともに活動を再開させる準備を整えることができていた。フランス見本市協会はフランス経済・財務・産業及びデジタル主権省の依頼を受け、「デスティネーション・フランス (Destination France)」と呼ばれるパンデミックからの復興計画の一環として、「トップバイヤープログラム」の運営を行い、48 か国から 500 人以上のトップバイヤーを約 20 に及ぶフランス国際見本市へ招待した。